

OUT-SOURCING

第9期中間事業報告書

平成17年1月1日～平成17年6月30日

株式会社 アウトソーシング

株主の皆さまへ



代表取締役社長
土井 春彦

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第9期中間事業報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援、ご鞭撻に対し心より厚く御礼申し上げます。

当社は様々な企業の製造工程を請け負う「生産請負」を主たる事業として展開しており、所属する製造アウトソーシング業界は、中長期に拡大が見込まれる魅力ある市場であると認識しております。

この魅力的な市場において、当社は中長期的経営戦略のひとつとして「規模の拡大」を掲げております。拡大が見込まれる市場にあって、まずは相応の売上規模の拡大により安定した収益基盤を築いていく必要があると考えております。同時に、利益管理を徹底していくことにより、営業利益率の維持向上に努めてまいります。

2005年12月期中間(連結)の実績につきましては、売上高では前年同期比11.6%増(業績予想比95.9%)の結果を残し、営業利益および経常利益につきましては、業績予想比110%以上の達成率を残すことができました。なお、2005年12月期の通期の業績予想につきましては変更はございません。

今後も、ステークホルダーの皆さまに必要とされる企業となることを常に意識した経営に邁進してまいります。変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2005年9月

Contents

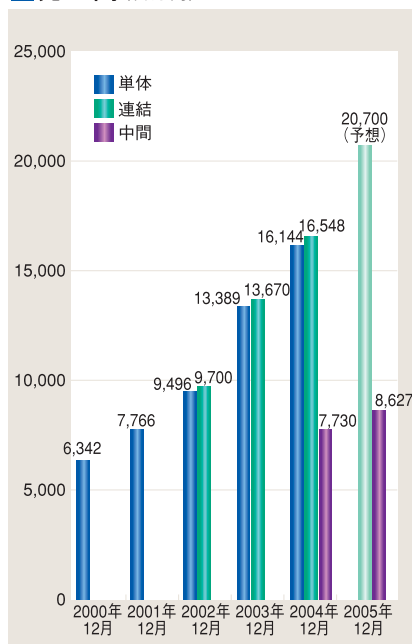
株主の皆さまへ	p.1
営業の概況	p.2
貸借対照表	p.3
損益計算書／剰余金計算書／ キャッシュ・フロー計算書	p.5
会社情報／株式の状況	p.6

●2005年12月期中間（2005年1月1日～2005年6月30日）の概況

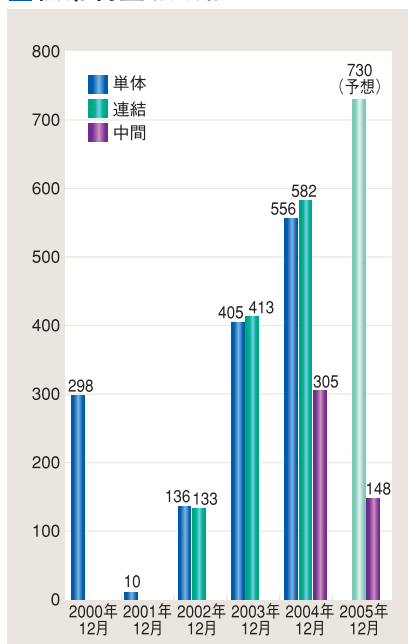
2005年12月期中間（連結）の当社顧客である大手メーカーの業績は、記録的な原油高に直面したものの、円安やその後の国内景気の回復傾向によって軒並み順調に推移しました。今後も、メーカーの製造アウトソーシングの利用は、激しい国際競争や生産変動への対応強化、新製品の研究開発への資源集中のため、一層進むものと考えられます。

このような状況の下、当社は食品・家電・自動車関連の既存取引先を中心に順調に受注が増加し、この結果、売上高は8,627,357千円（前年同期比11.6%増）、経常利益は148,786千円（前年同期比51.4%減）、当期純利益は67,578千円（前年同期比57.8%減）となりました。

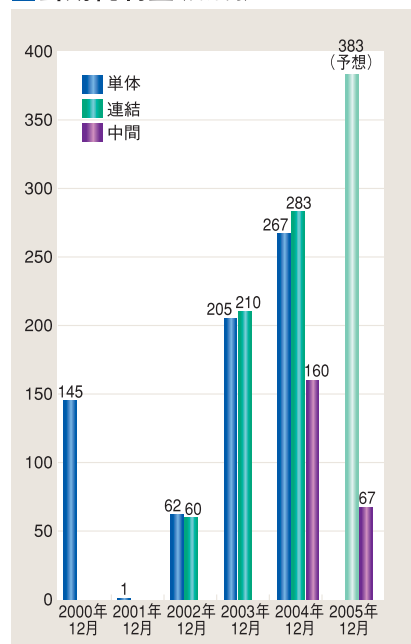
■売上高（百万円）



■経常利益（百万円）



■当期純利益（百万円）



2005年1月1日付にて、子会社でありました株式会社アクセントを吸収合併しているため、2005年12月期予想は単体のみを記載しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表

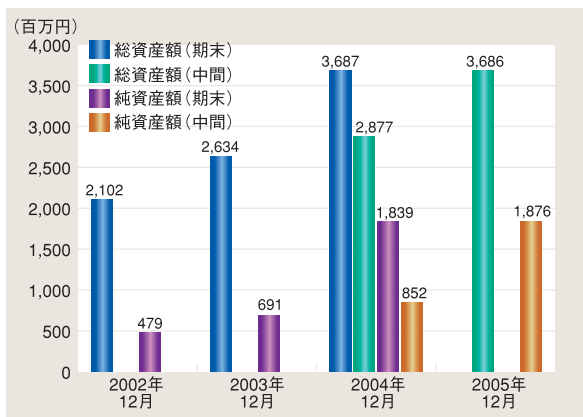
区分	前中間連結 会計期間末 (平成16年6月30日)	当中間連結 会計期間末 (平成17年6月30日)	増減
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
(資産の部)			
流動資産	2,565,674	3,169,642	603,968
現金及び預金	695,962	1,135,363	439,401
受取手形及び売掛金	1,726,228	1,867,719	141,491
たな卸資産	8,639	21,442	12,803
その他	136,077	145,495	9,418
貸倒引当金	△ 1,232	△ 379	853
固定資産	311,504	516,526	205,022
有形固定資産	65,184	78,703	13,519
無形固定資産	38,292	59,659	21,367
投資その他の資産	208,028	378,163	170,135
投資有価証券	—	218,721	218,721
敷金保証金	149,208	134,716	△ 14,492
その他	59,091	24,950	△ 34,141
貸倒引当金	△ 271	△ 224	47
資産合計	2,877,179	3,686,168	808,989

主に、株式の上場において行った公募増資による資金調達の結果、増加しました。

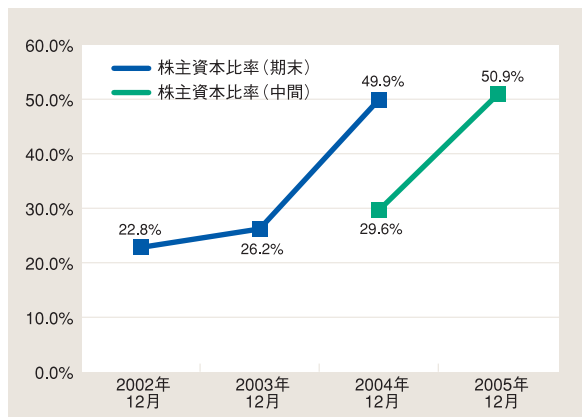
売上高の増加に伴い、増加しました。

投資有価証券の取得により、増加しました。

総資産額/純資産額



株主資本比率



	前中間連結 会計期間末 (平成16年6月30日)	当中間連結 会計期間末 (平成17年6月30日)	増減
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
(負債の部)			
流動負債	2,017,047	1,798,349	△ 218,698
短期借入金	236,000	—	△ 236,000
未払金	1,135,226	1,234,684	99,458
未払費用	140,348	140,589	241
未払法人税等	163,276	134,827	△ 28,449
未払消費税等	196,015	140,217	△ 55,798
預り金	146,180	148,029	1,849
固定負債	7,994	11,554	3,560
退職給付引当金	7,994	11,554	3,560
負債合計	2,025,042	1,809,903	△ 215,139
(資本の部)			
資本金	103,915	460,915	357,000
資本剰余金	63,915	571,715	507,800
利益剰余金	684,304	844,420	160,116
その他有価証券評価差額金	2	△ 785	△ 787
資本合計	852,137	1,876,264	1,024,127
負債及び資本合計	2,877,179	3,686,168	808,989

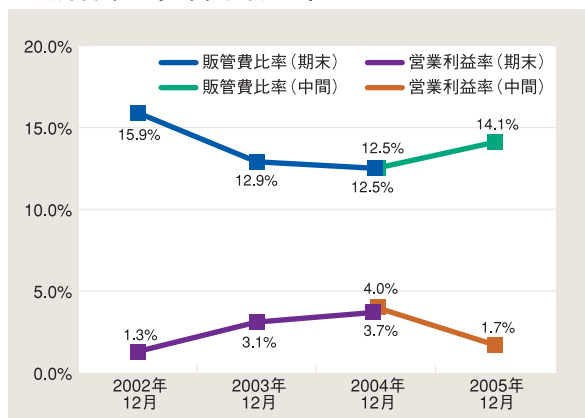
短期借入金を返済しました。

主に、人件費の増加によって、増加しました。

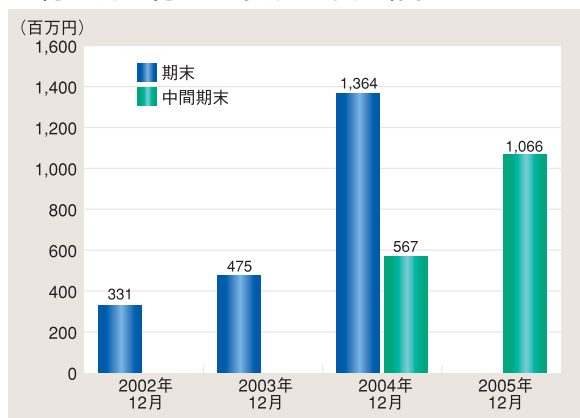
退職給付債務の見込額を計上した結果、増加しました。

株式の上場に伴い、資本金、資本剰余金が増加しました。これにより、自己資本比率は50.9%となり、財務体質が強化されました。

■ 販管費比率/営業利益率



■ 現金及び現金同等物の期末残高



連結財務諸表

連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年6月30日)	当中間連結会計期間 (自平成17年1月1日 至平成17年6月30日)	増減
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
売上高	7,730,452	8,627,357	896,905
売上原価	6,451,240	7,267,294	816,054
売上総利益	1,279,212	1,360,062	80,850
販売費及び一般管理費	971,153	1,214,818	243,665
営業利益	308,059	145,243	△ 162,816
営業外収益	92	3,560	3,468
営業外費用	2,194	17	△ 2,177
経常利益	305,957	148,786	△ 157,171
特別利益	7,951	16,320	8,369
特別損失	3,642	7,249	3,607
税金等調整前中間純利益	310,266	157,856	△ 152,410
法人税、住民税及び事業税	162,699	107,251	△ 55,448
法人税等調整額	△12,683	△16,973	△ 4,290
中間純利益	160,250	67,578	△ 92,672

前年比プラス11.6%となりました。取引先の見直しを行うことで更なる拡大を目指しております。

高収益体質の強化により、粗利益改善策の徹底を実行中であります。

前年同期比では減少しましたが、当中間連結会計期間の業績予想以上の110%を超える達成率を果たしました。当初の計画通り、極めて順調であります。

連結剰余金計算書

	前中間連結会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年6月30日)	当中間連結会計期間 (自平成17年1月1日 至平成17年6月30日)	増減
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	63,915	571,715	507,800
資本剰余金中間期末残高	63,915	571,715	507,800
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	524,054	807,358	283,304
中間純利益	160,250	67,578	△ 92,672
配当金	—	30,516	30,516
利益剰余金中間期末残高	684,304	844,420	160,116

連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年6月30日)	当中間連結会計期間 (自平成17年1月1日 至平成17年6月30日)	増減
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,559	△14,678	△ 141,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,561	△247,622	△ 233,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,600	△35,558	△ 15,958
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—	0
現金及び現金同等物の増加(△:減少)額	92,398	△297,859	△ 390,257
現金及び現金同等物の期首残高	475,164	1,364,323	889,159
現金及び現金同等物の中間期末残高	567,562	1,066,463	498,901

税金等調整前利益に対し、法人税等の支払いによりマイナスとなりました。

投資有価証券取得による支出等を反映しております。

長期借入金の返済および配当金の支払等によるものです。

会社情報 (2005年8月31日現在)

■会社概要

商号 株式会社アウトソーシング
 設立 1997年1月
 資本金 4億6,091万5千円
 主な事業内容 総合アウトソーシングサービス事業
 (製造業を中心とした業務請負事業
 及び人材派遣事業等)
 会計監査人 監査法人トーマツ
 加盟団体 日本経済団体連合会
 日本製造アウトソーシング協会

■役員

代表取締役社長 土井 春彦
 専務取締役 佐野 美樹
 取締役 植松 政臣
 取締役 鈴木 一彦
 常勤監査役 木下 好正
 監査役 浅羽 忠克

株式の状況 (2005年6月30日現在)

■株式の状況

会社が発行する株式の総数 320,000株
 発行済株式の総数 126,100株
 中間期末株主数 6,571名

■新株予約権の状況

新株予約権 (平成16年9月10日発行)		
新株予約権の数	目的となる株式の種類および数	発行価額
363個	普通株式3,630株	無償

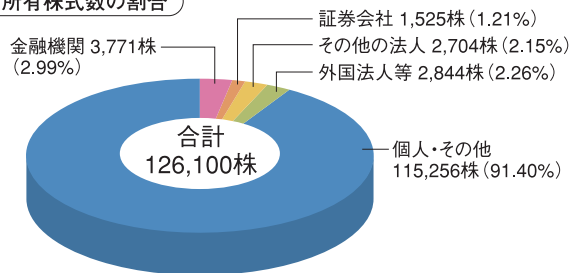
新株予約権 (平成17年5月31日発行)		
新株予約権の数	目的となる株式の種類および数	発行価額
1,000個	普通株式1,000株	無償

■大株主

株主名	株式数	構成比
土井 春彦	55,800株	44.25%
佐野 美樹	5,000株	3.97%
土井 千春	3,100株	2.46%
日本トラスティサービス信託銀行	2,040株	1.62%
アウトソーシング従業員持株会	1,588株	1.26%
静岡キャピタル株式会社	1,300株	1.03%
ベアリングガンジーリミテッド	1,000株	0.79%
HSBCバンク	1,000株	0.79%
大阪証券金融株式会社(業務口)	732株	0.58%
ダイヤモンドキャピタル株式会社	700株	0.56%

■所有者別状況

所有株式数の割合



株主メモ

■決算期…………… 12月31日

■定時株主総会…………… 3月中

■基準日…………… 12月31日

■中間配当基準日…………… 6月30日

■株式の名義書換

名義書換代理人…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱信託銀行株式会社

事務取扱場所…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱信託銀行株式会社証券代行部

連絡先・送付先…………… 〒171-8508
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱信託銀行株式会社証券代行部
電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)

取次所…………… 三菱信託銀行株式会社 全国各支店
(注)三菱信託銀行株式会社は、平成17年10月1日付けで三菱UFJ信託銀行株式会社に商号変更する予定です。

■公告掲載新聞…………… 日本経済新聞

決算公告につきましては、当社ホームページに掲載しております。

http://outsourcing-ir.irbridge.com/AccountingAnnouncementU,locale,ja_JP.html

OUT-SOURCING

株式会社 アウトソーシング

〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11-1

静銀・中京銀静岡駅南ビル3F

TEL 054-281-4888

www.outsourcing.co.jp